

編集後記

此々に集いし130の若人、喜びあり悲しみあり、人それぞれの生き方があろうが、社会の一線に立つ時も、或いは人生の中半終え皺よる顔に老眼鏡の光る時も、どうかこの冊子を紐解く事を忘れないで下さい。時々でよいから。

『あ、俺にもこんな時代があったのか』と忘却の彼方を手探りで求め旧き友の面影、盛岡の北に在した母校を思い出して下さい。

このアルバムに対して皆一人一人異なった受取り方をするかもしれない。或る人は単なる思い出として、又或る人はもっと積極的な意味を、例えば人生に打ち負され生きる望を失った時、純で希望に満ちた高校生活を思い出し、生きがいを与えてくれるものとしてこのアルバムを開くに違いない。

だがあまりに積極的な価値を見出さんがため、ともすれば打算的になりがちな自己と高校時代の理想を目指した自己の矛盾に恐れをなし、このアルバムを開くに疎くなってはならない。単なる思い出、紫色の薄いヴェールに包まれ美化された思い出の集大成としてこのアルバムを見てもらえれば、それで我々編集委員は満足なのです。

アルバム編集委員

角掛 勝彦 高橋 純一 小枝指 博 沢井 修
工藤 宰民 沢野 重安 吉田 重雄 川辺 利哉
佐々木久夫 藤原 一広 下平 輝夫 高橋 正敏 水戸 睦夫

